

児童発達支援における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 4月22日

事業所名 オリーブグリーン

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である				
	2	職員の配置数は適切である			今現在は大丈夫。現在は適切。利用者が増えると職員不足になる	子ども達の様子なども考え、必要であれば職員増員を検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている			これから子どもの様子を踏まえながら話し合いの中で作っていきたい。エレベーターがある。イラスト、衝立てなどを使用し、活動するスペースの区分けはできるだけ分かりやすいよう工夫している	子ども達が活動しやすいように構造化された環境作りを行います。イラストや写真を活用して、障がいの特性に合わせた分かりやすさを追求し、工夫を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている			たまに床にゴミなどが落ちていたときはひろうなどできるがそうじの時間が短くいきとどかないところもこれからみつめていきたい。	何でも口に入れてしまう子どもがいるため、衛生面には十分に気を付けていきたいと考えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			はじまったばかりでこれからしていく予定。職員間での振り返り、情報共有が充分にできていないため。	事業が始まったばかりということもあり、なかなか職員間での振り返りの時間が持てませんが、その中でも工夫を行い、隙間時間を見つけてしっかりと情報共有を行っていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			まだ実施していない。わからない。今後とりにくみたい	保護者の意向はしっかりと受け止め、業務改善に努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している			オリーブグリーンのホームページは現在ない。会報などもまだ作成していない。HPに載っている。	支援の質や内容については、毎月発行するお便りで分かりやすく保護者にお伝えするようにしていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			まだ実施していない。わからない。	外部評価による指摘事項があった際は、真摯に受け止め、早急に業務改善に取り組んでいきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している			月1回の職員会議時に勉強会も行っている	毎月の職員会で知識向上のための勉強会を行っており、今後も継続していきます。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している			アセスメントシート記載と聴取にてニーズを把握し計画に反映させている。	アセスメントは丁寧に行うように努めていきます。保護者や子どものニーズをとらえて、質の高い支援計画作成に努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している			これから準備する予定。今後取り入れていきたい。	現在では標準化されたアセスメントツールが完成し、実際に使用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている			これから設定していく予定	現在では、必要な項目を選択し、具体的な支援内容が設定された計画作成が完成しています。今後も、日々勉強を行いながら、質の高い計画作成に努めていきます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている			これから支援していく	現在では、計画に沿った支援が行なわれています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている			定期的に主任を中心に。職員会で話し合って立案している。	職員間で意見を出し合いながら、チームで立案しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している			これからしていく予定	子ども達の力を伸ばすため、多様な活動プログラムを設定するようにして、固定化しないようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している			これから作成していく。わからない。今後個別個別活動実施予定。	子ども達の特性や興味関心・伸ばしていきたいことについて情報収集・分析を行い、丁寧に計画作成を行うようにしています。また、個別療育プログラム実施に向けて、準備を行っています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している			書面などで明示した状態でやっている。各自で話している(勤務時間がちがうので)	職員間の勤務時間のずれから、打ち合わせの時間がじっくり取れないこともあるが、書面や隙間時間などを活用して工夫をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			後日になる。当日中は現在むずかしい。勤務時間がちがうので全員一緒にではないが各自で話している	上記に同じく、隙間時間や書面を活用しなければいけない部分はありますが、必要な振り返りなどは必ずするようにしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			日報を記入している	継続して、日誌や日報などの記録をつけていきます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している			していく予定。わからない。	子ども達の成長やつまずきを敏感にとらえながら、定期的にモニタリング・見直しを行うことは非常に重要だと認識しています。一人ひとりの力を確実に伸ばしていけるように適切に行っていきます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している			これから参画していく予定	児童発達支援管理責任者及び主任が主に出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている			支援員と情報共有はできる状態。わからない。	必要に応じ連携をとっていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			いまはまだ図っていない	担当者会議などを通して、細かい情報共有を行うようにしていて、混乱なく次の支援に移行できるように尽力します。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			いまはまだ図っていない。今後就学にあたっての支援をする中で連携を図っていききたい。	今後、対象児においては就学先と細かく情報共有と相互理解を図っていく予定です。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている			いまはまだ受けられてはいないが他施設とのつながりはある。	専門機関と連携を図り、今後の質の高い支援を目指すため、研修参加や助言をいただきたいと考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			いまのところはないが今後考えられる。まだない。今後近隣幼稚園との交流を図っていききたい。	まずは近隣幼稚園との交流を予定しています(コロナの状態にもよるが)。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			いまのところ参加してない。参加していききたいと考えている。	今後、積極的に参加していききたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている			これから理解をしていきたい。	保護者に対する連絡は、大切なお子様をお預かりするうえで、最重要事項だと考えています。信頼関係を継続し、より良い支援を行うために細かくお伝えすることを心がけ、発達の状況や課題について共通理解できるように努めていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			今は行っていない。 わからない。 わからない。	保護者からの困り感を共有し、問題行動などの改善に対してのアドバイスを求められた時は、実践しやすい方法などの助言を行っています。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている			知識なく自分ではできていない。	初回契約時に説明を行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			書類を確認してもらいサインをもらってから行うようになっている。 わからない。 わからない。	計画については支援内容の説明を行い、保護者の方の同意のサインをいただいています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている			これから増えていく。 悩み相談などがまだあまりない。 保護者来所時に実施している。	定期的に面談の機会を設けていく予定です。悩みや困り感などあれば、真摯に受け止め、必要な助言と支援を行います。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			できてない。 わからない。 まだない。	現在は保護者間の連携を支援はしておりません。今後、必要性が出てくるようであれば検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している			今後できるだけしていく予定 わからない(まだない?)	個別支援計画の家族支援の中にも設定しています。ご相談などのご要望があった場合は、分かりやすく実施できるような助言をさせていただきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している			作成していない オリーブグリーン便りを発行している。 おたよりを毎月作成している。	毎月のお便りにて、支援内容や目的などに触れているほか、必要な情報を分かりやすく記載できるように努めていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している			名前の記さいなどあるものはシュレッダーするようにしている。	個人情報の持ち出しについては厳格に禁止し、扱いに十分に気をつけるようにしています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている			これから行っていく。 ツール活用、連絡ノート、保護者来所時に情報共有している。	分かりやすいツールを作成して、しい伝達の向上を図っていきます。連絡ノートでの情報共有は継続して行い、細かくお伝えできるように心がけていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			できてない。 まだない。	今後検討していきたいと考えています。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している			作成中。 まだしていない。 まだできていないこともある。	感染症については状況が変わることもあり、その都度対応しています。新施設になり、防犯や緊急時については話し合いを行い、準備中です。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている			今後していく。 まだしていない。 今後行っていく。 現在準備中。	計画準備段階の状態ですが、訓練は毎月行う予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している			アセスメントなどで聞きとっている。 アセスメントシートを作成し、聴き取りをしている。	契約時に細かく聞き取りを行うようにして、職員間の共通理解を行うようにします。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			今アレルギーの子がいない。 いない。	対象児には必要なデータをいただくこともあります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している			わからない。 まだない。	ヒヤリハット報告書は職員間で必ず確認し、その後ファイリングして保管しています。事例集作成についても計画していきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている			定期的に行っている。	虐待についての知識を深め、自らの行動について振り返りを行う目的で、職員会議の際に研修を行います。実際の映像などを視聴したり、セルフチェックシートの記入を行う予定です。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			そのレベルのお子様をあずかっていない。わからない。	対象者がいる場合は保護者の方に説明し、計画にも記載しますが、今のところ対象者はおられません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。